

## 令和6年度 学校関係者評価委員会報告書

1. 日時 : 令和7年3月26日(水) 14:00~14:30
2. 場所 : 専門学校福祉リソースカレッジ広島 WEB開催(ZOOM)

### 3. 参加委員 :

#### 外部委員(学校関係者評価委員)

社会福祉法人ビタ・フェリーチェ 地域活動支援センター 施設長 岡田 妙子 様  
Office M&W 合同会社 指定障害福祉サービス事業所 渡邊 美加 様

#### 本校教職員

校長、今井、栗原、米田

### 4. スケジュール

- (1) 開会あいさつ
- (2) 議題
  - ①令和6年度「自己点検・自己評価(学校評価)」について
  - ②令和6年度「学生の動向」について
  - ③その他
- (3) 質疑応答及び意見交換
- (4) 閉会あいさつ

#### (1)開会あいさつ

委員長・・・今年度も精神保健福祉士国家試験全員合格とのことで、おめでとうございます。マニュアル作成や自己点検等が求められるようになり、業務がおおくなっているかと存じます。そのようななかですが、専門学校の一番の目的は国家資格の修得だと思いますので、一番の役割は果たされていると思います。今年度第一回目の委員長ということで、学校の方針等教えていただきたく思います。

#### (2)についての協議内容

- ① 令和6年度「自己点検・自己評価」について  
令和6年度「自己点検・自己評価票」に沿って報告。
- ② 令和6年度「学生の動向」について  
資料「学生の動向」に沿って報告。入退学者状況、現在籍学生年齢分布別状況、就職状況、資格取得状況について報告。

- ・今年度は精神保健福祉学科昼間課程 7 名、国家試験に全員合格した。
- ・昨年度に続き、2 年連続で全員合格することができた。
- ・就職については、7 名中、自営の 1 名を除く 6 名が就職希望。昨年 11 月時点で就職希望者全員が内定をいただいた。就職率 100%。

### (3) 質疑応答及び意見交換

- ・委員・・・学生支援において、課題として国家試験に合格しなかった学生への支援強化が必要とのことだが、やはり不合格者へのフォローはとても重要だと思う。
  - 本校教職員・・・これまで積極的に支援をすることができなかった。今後は「改善点」にあるように、具体的な支援を展開していきたい。
  - 委員・・・不合格者への支援も学校の魅力の一つだと思うので、今後に期待している。
- ・委員・・・自己点検・自己評価票の 9「社会貢献・地域貢献」について。試験対策等が大変かと思うが、ボランティア体験は必要なことだと思う。仕事柄ボランティアな精神というのは、学生時代に培っていくことが大切。
- ・委員・・・学生数が減ってきていることについて、今後の対策は。
  - 本校教職員・・・令和 6 年度は大学訪問を行った。次年度以降も、大学訪問を中心として、営業先を広げていく。
- ・委員・・・地域のことを知ることが大事。府中町内の福祉事務所のボランティアをやってみてはどうか。また、地域のボランティア講座と学校の授業をからめてみるのもよいのではないだろうか。授業の関係で日程を合わせるのが困難なケースもあると思うが、計画を立ててみてはどうか。
  - 本校教職員・・・府中町でのボランティア講座は、本年度は何月ごろに開催されたのですか。
  - 委員・・・今年度は 6 月、8 月、9 月でした。次年度以降、学生が参加できれば地域の生の声を聞くことができるいい機会。
- ・委員・・・卒業後の支援等について、卒業生が集まることのできるサイトみたいなものがあって、求人情報等の情報共有がはかれる場があるとよいのではないだろうか。

- ・本校教職員・・・今後、MHSWに求められること、こういった役割が求められているか、教えていただきたい。
  - 委員・・・精神障害者の支援において、精神保健福祉を専門に学んでいることはとても重要なことだと思う。医療だけでなく、障害福祉領域にも精神保健福祉士が求められていること、活躍の場があることを周知していくことも学校に求められているのではないかと思う。ビタ・フェリーチェでは、職員採用の際に、精神保健福祉士資格にこだわっている。
  - 委員・・・精神保健福祉士は基礎資格であり、現場ではサービス管理責任者や相談支援専門員が求められている。精神保健福祉士を取得し、更に現場でどのようにキャリア形成していくのか、その将来像や道筋について、具体的に示していくことが求められるのではないか。学校でのカリキュラムと、現場がつながるような工夫を。具体的なキャリア形成を示すうえでも、やはり現場のワーカーから直接話を聞く機会をつくること等も必要なことではないだろうか。
  
- ・本校教職員・・・学生募集をするうえで、もっとこうしたらよいと思うことはないか意見を伺いたい。
  - 委員・・・情報がなければ選択することができない。「今のままでいいのだろうか・・・」と思っている人は結構いるのではないだろうか。そういった人々に、資格取得による将来像を示すことは有効。選択の余地が広がる。資格取得後の具体的なケースについて取り上げてみるとよいかもしれない。

#### (4) 閉会あいさつ（校長）

本日はお忙しい中、本校の委員会にご出席くださり、ありがとうございます。

委員の先生方のお力を借りながら、よりよい教育をし、その教育をした学生が現場で活躍していくという、この繰り返しになっていくと思います。また、外部講師の先生方や卒業生のアンケートを通じて評価を重ね、より良い教育を行い、即戦力となる人材を育成していく所存です。このような委員会は、教職員にとっても重要であり、現場の現状を伝えるための情報共有が必要だと思います。

今後もしよろしく願いいたします。